

(市長記者会見資料)

令和5年5月30日
京都市文化市民局

〔文化芸術都市推進室〕
〔文化芸術企画課〕
電話：075-222-3119

＼ 社会全体で文化芸術を支える仕組みを構築 ／

「京都・文化ファンドレイジング戦略推進事業」について

本市では、「都市の成長戦略」として、京都の強みと時代の潮流を掛け合わせ、新たな価値を創造する「5つの都市デザイン」の実現を目指しており、その一つである「文化と経済の好循環を創出する都市」の実現に向けて、「京都アート・エコシステム実現プロジェクト」をリーディング・チャレンジとして位置付けています。

この度、その一環として、下記のとおり「京都・文化ファンドレイジング戦略推進事業」を展開してまいりますので、お知らせします。

記

1 京都・文化ファンドレイジング戦略推進事業の概要（詳細別紙）

(1) 背景

- ア コロナ禍による文化芸術の社会的価値の再認識
- イ 都市の成長戦略

(2) 具体的な取組

- ア 「Arts Aid KYOTO～京都市 連携・協働型文化芸術支援制度～」制度の創設
- イ GCF (Government Crowd Funding) の実施
- ウ 「京都市京セラ美術館 新進作家支援・育成事業等のためのチャリティ・オークション&ガラ・ディナー」の開催 **充実**
- エ 文化芸術寄付ポータルサイト「キョウト・アート・ドネーションKyoto Art Donation」の開設 **新規** **全国初**

2 「Kyoto Art Donation」の三つの特徴

- ・ 様々な主体が、共通のゴールを掲げ、互いの強みを出し合いながら課題解決を目指す協働性
- ・ 「京都ファン」コミュニティの醸成
- ・ 寄付ステップの体系化（1度だけ⇒継続⇒大口⇒遺贈）

(裏面へ続く)

3 これまでの主な経過と今後の予定

令和3年10月	「Arts Aid KYOTO」制度の創設
令和3年11月	Arts Aid KYOTO 通常支援に係る GCF の実施
令和4年 5月	「京都市京セラ美術館 新進作家支援・育成事業等のためのチャリティ・オークション」の開催
令和4年 7月	京都国際舞台芸術祭開催に係る GCF の実施
令和4年 9月	「Arts Aid KYOTO」制度を、文化財保護分野にも拡充
令和5年 5月30日	「Kyoto Art Donation」の開設（順次充実）

(参考)「京都アート・エコシステム実現プロジェクト」について

具体的には、以下のような施策を進めることとしている。

- ・ ESG^{*}+C（文化）やESG+A（アート）という新たな理念を社会に広めるなど、企業をはじめとする多様な主体が文化に投資する潮流を生み出し、国内外からの投資、支援を呼び込む仕組みを構築
- ※ ESG：環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字を取ったもので、近年、企業の長期的な成長のために必要とされる観点
- ・ アーティストが市内で定住、創作、発表、販売できる環境を整備し、企業など多様な主体と交流する機会を創出
- ・ 国際的なアート拠点としてのブランド確立を目指し、世界的なギャラリー・アートフェアの誘致、様々な主体によるアートイベント等の情報発信など、アート市場の活性化
- ・ アートの社会的・経済的な価値を高め、アーティストの国内外での評価も高めることで、その活動基盤の充実につながり、創作活動がさらに活発になるというアートを取り巻く体系（エコシステム）の好循環を形成

(参考)「Arts Aid KYOTO～京都市 連携・協働型文化芸術支援制度～」について

京都の文化芸術を担うアーティスト等の意欲的な活動を、個人・企業の寄付等により社会全体で支え、持続的な京都の文化芸術の発展を目指すため、令和3年10月に新たに創設した支援制度。本市への寄付金の7割を文化芸術活動支援（補助）に、3割を基金に積み立て文化芸術振興施策に活用する。

令和4年9月に文化財保護事業を支援対象に追加。

<寄付受納と補助の実績（令和3年度及び4年度）>

支援事業件数 : 75件 ※通常支援型59件、事業認定型16件

いただいた寄付総額 : 281,509千円